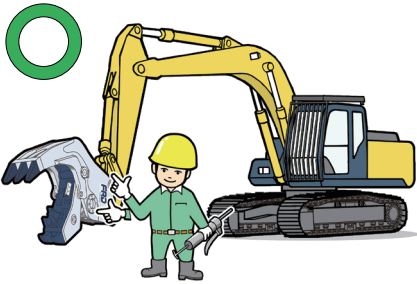


油圧圧砕機をうまく使うポイント

油圧圧砕機の運転は、安全マニュアル・取扱説明書を読んで十分理解してからにしてください。

■ 始業点検は必ず行いましょう



作業を始める前に確認を。圧砕機を安全に使用し、故障などを未然に防ぐことができます。

■ グリース給脂は確実に

作業を行う前に、グリースガンを使いグリースを給脂してください。給脂を行うときは、グリースニップルを清掃してください。

■ 暖機運転を行う

始業時には、5分程度圧砕機のならし運転を行い作動油を温めてください。カッターのかみ合いに不具合はないか、オイルホースや配管金具より油漏れはないか、油圧シリンダにカシリや損傷はないか点検してください。

■ 不安定な場所での作業はしない



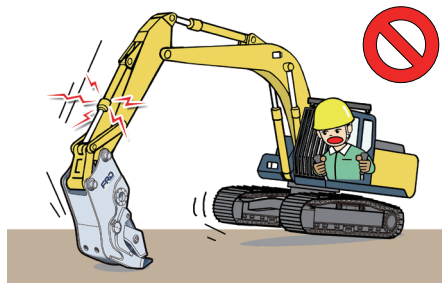
平坦で堅固な地盤の上で作業を行ってください。建物内では、地盤割れや倒壊の恐れのある危険区域に立入らないでください。

■ 旋回するときの注意



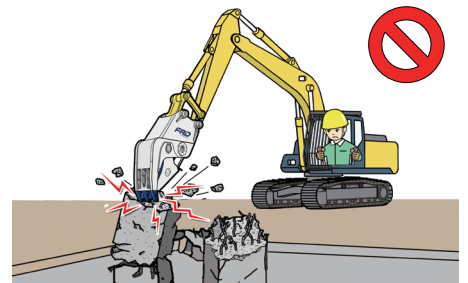
不用意な旋回は危険です。旋回範囲内に作業者が近づかないよう、周囲の作業者に注意を促してください。

■ ジャッキアップはしない



圧砕機を損傷するだけでなく、油圧ショベルのアームやブームに無理な力が加わり油圧ショベルを壊す原因にもなります。

■ 破砕物に打ちつけないで



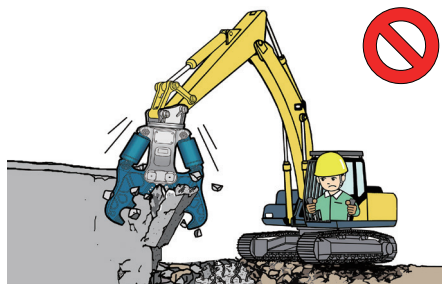
圧砕機や油圧ショベルを損傷させるだけでなく、破砕物を飛散させるなど思わぬ事故を引き起こす恐れもあります。

■ 油圧ショベルの浮き上がりに注意



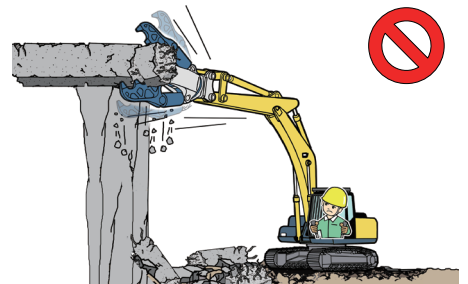
油圧ショベルを転倒させる恐れがあります。油圧ショベルの安全作業半径の制限と許容質量とを守って作業をしてください。

■ カッターで鉄筋以外の物を切らない



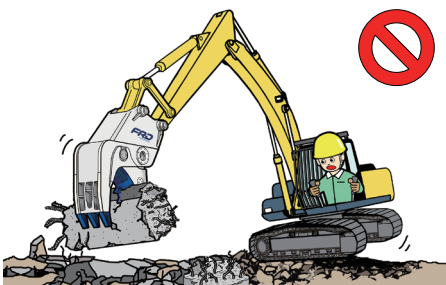
鉄筋以外の破砕物をカッターで噛むと、カッター刃の欠損やカッターが摩耗して鉄筋が切れなくなります。

■ こじり作業はしない



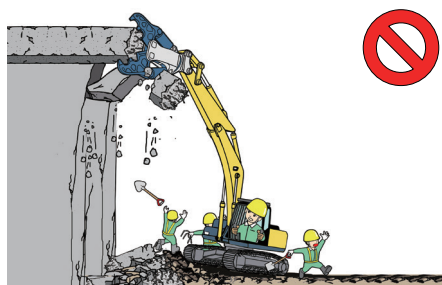
破砕物を噛んだまま、ブームやアームを動かすこじり作業は、圧砕機を損傷させ油圧ショベルを壊す原因にもなります。

■ 横向き作業の禁止



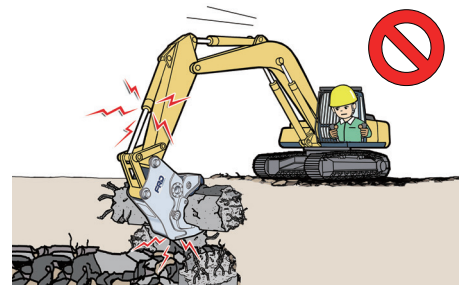
作業装置が履帯に対し直角方向になる状態で作業を行うと、油圧ショベルの浮き上りや横転などの恐れがあります。

■ 落下物に注意



解体物が落下する付近は立入禁止にします。作業者が立入らないよう、立入禁止区域は十分広く確保します。

■ ストロークエンドでは作業をしない



油圧ショベルのシリンダに無理な力が加わり、ロッドの曲がりや抜け、リンクの折損などを引き起こす原因になります。